

# 檢

# 朝日杯F S

競馬新聞「檢」 通巻第373号・朝日杯F S特集号 2013.12.15発行  
 12月15日(日) 中山11R レコード：1分33秒4 マイネルレコルト (H16年 55後 藤)  
 発行元：北海道大学競馬サークル Home Stretch <http://hokudaihs.web.fc2.com/>

8		7		6		5		4		3		2		1		枠馬
16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
シヨウナンワダチ	ハイアーレート	ウインフルブルーム	プレイアンドリアル	アポロスターズ	シヨウナンアチーブ	グリサージュ	ツインクルソード	ニシノデンジャラス	エルカミノレアル	アジアエクスプレス	サトノロブロイ	マイネルディアベル	アトム	テイエムキュウコー	ベルカント	馬名
牡2	牡2	牡2	牡2	牡2	牡2	牝2	牡2	牡2	牡2	牡2	牡2	牡2	牡2	牡2	牝2	性齢
55	55	55	55	55	55	54	55	55	55	55	55	55	55	55	54	斤量
北村宏	吉田豊	和田	柴田大	勝浦	後藤	江田	福永	田辺	川須	ムーア	松田	Mデム	川田	三浦	武豊	騎手
△	△	...	◎	...	...	...	...	▲	...	△	...	...	○	...	...	八巻
△	...	○	▲	...	◎	...	...	...	...	...	△	...	△	...	...	銚之原
...	...	...	◎	...	×	...	...	△	...	...	...	...	○	...	▲	山下
...	...	△	◎	...	...	...	...	...	...	▲	△	...	○	...	△	島田
...	...	△	◎	...	...	...	...	...	...	△	...	...	○	...	▲	本紙

# 若駒激突!!!

## 芝と砂、2歳王者決定戦二連発！／山下

いよいよ今週は朝日杯フューチュリティステークス。東京スポーツ杯 2歳 S2着、史上初の地方馬による2歳GI制覇に期待がかかるプレイアンドリアル、前走の鎌倉記念を制し、満を持してJRAへ移籍したニシノデンジャラスと、2頭の“ホッカイドウ競馬卒業生”の走りに注目したいところです。

さて、その3日後に当たる18日(水)、今度は川崎競馬場で全日本2歳優駿(Jpn I)が行われます。朝日杯が芝の2歳王者決定戦にあたるならば、こちらはダートの2歳王者決定戦。全国から名うての砂巧者が集結するというのもあって、こちらも道営デビュー馬の活躍が見込めそうです。

中でも最右翼となりそうなのはハッピープリント。ダートは4戦無敗、前走の北海道2歳優駿も断然の1番人気に応え快勝と、中央馬相手でもナンバーワンの実績を誇ります。ここを目標に早くから川崎入りし、中間も至って順調なようです。初の小回りコースに対応できれば、01年プリンシパルリバー以来となるホッカイドウ競馬所属馬Vも目前です。

相手筆頭はニシケンモノノフ。9月に門別で行われた重賞・イノセントCをレコード勝ちした快速を生かし、JRA移籍後もダートで2連勝。前走・兵庫ジュニアグランプリも好位3~4番手から危なげない抜け出しと高いパフォーマンスを見せました。多少の速い流れならどんと来いで、この舞台でも注目が集まります。

船橋所属のナイトバロンが3番手。前走・平和賞は直線で豪脚を披露し3馬身差の快勝でした。ホッカイドウ競馬所属時は後方に置かれる面も見せましたが、好位でしっかり折り合い、レースぶりの成長も伺えます。デビュー当初は太く映った馬体も、スッキリと見せてほしい競走馬らしい体つきになった印象。左回りの重賞を制した実績はここでも光ります。「強い2歳」が最大のセールスポイントのホッカイドウ競馬で実績を残した馬が上位独占、という結果

も夢ではありません！

その他のメンバーではJRAのダイチトゥルースが気になります。プラタナス賞は最後方一気という豪快な競馬。位置取り次第では浮上の可能性も十分です。

## プレイアンドリアルVSアトム/八巻

今年の出走馬をみるとこの2頭が一步抜けている印象。他の馬が勝ち負けするのは正直厳しい。となるとこの2頭の相手探し。

筆頭はニシノデンジャラス。道営出身馬だとプレイアンドリアルに注目が集まるがこの馬も父スペシャルウィークだけに芝もこなせそう。道営屈指の実力馬だっただけに芝さえこなせばここでも通用する。

前走ダートのアジアエクスプレスも魅力のある一頭。ちょっと人気になりすぎのきらいはあるがスケールのある馬で、ある意味この人気も納得。この馬の父からは芝の重賞を勝ったヘニーハウンドもでており、この馬も芝をこなす可能性はある。

全く人気はないがハイアーレートは一発がある馬。もともと札幌2歳Sの3着馬。さらに今年の2歳戦でレベルが高かったのは黄菊賞と東スポ杯の2レースで、その東スポ杯で8着。一見悪い数字に見えるがこのレースはおそらく上位6頭が重賞級の超ハイレベル戦。後ろから行きすぎて勝負には絡めなかったが上がり3ハロンは上位陣とそんな色ない数字。東スポ杯より相手関係もらくなるしこれだけ人気がないなら色気を出して買ってみよう。

末脚に魅力のあるシヨウナンワダチにも期待したいところだったが、引いた枠がなんと大外。しかし大外でも死んだふりができればチャンスはあるので、北村宏司騎手の手腕を信じて印を入れる。